

公益社団法人 日本地下水学会  
2021年度 事業報告書

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業報告を記す。

## [公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

### 1. 会誌編集事業

- ① 会誌 63 巻 2～4 号の編集作業を行い発行した。  
会誌 63 巻 3 号および 4 号は、特集「地下水と農業の関わり」を含み発刊した。  
会誌 63 巻 3 号には、「水循環基本法の一部改正について」の記事を掲載した。  
会誌 63 巻 4 号には、「地下水保全」ガイドライン（第二版）～地下水保全と持続可能な地下水利用のために～の改訂の概要および「硝酸性窒素等地域総合対策ガイドライン」の紹介を掲載した。
- ② 会誌 64 巻 1 号の編集作業を行い発行した。  
会誌 64 巻 1 号は、特集「地下環境の利用とそれにかかわる地下水・地下流体挙動」を含み発刊した。

### 2. 定期講演会等の主催

- ① (公社) 日本地下水学会春季講演会の開催  
日時：2021年5月29日(土)  
場所：オンラインにて開催（事務局会場 広島大学東京オフィス）  
参加者数等：講演件数18件、参加者数106名
- ② 第26回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会  
日時：2021年6月24日(木)～25日(金)  
場所：オンラインにて開催  
主催：(公社)地盤工学会、(公社)日本地下水学会、(公社)日本水環境学会  
(一社)廃棄物資源循環学会、(一社)土壌環境センター
- ③ (公社) 日本地下水学会秋季講演会の開催  
日時：2021年12月2日(木)～4日(土)  
場所：沖縄県那覇市 産業支援センター  
(現地とオンラインのハイブリッド方式にて開催)  
参加者数等：講演件数56件、参加者数177名（うちオンライン75名）

### 3. 講演会等の共催、後援、協賛

- ① (公社) 日本河川協会日本水大賞委員会主催：第24回日本水大賞、後援
- ② 日本地球惑星連合主催：JpGU「流域生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸まで」セッション、2021年5月31日(月)～6月6日(日)、共催
- ③ NPO 法人地中熱&地下水資源活用 NET 主催：第9回トークセッション「貴重な水資源、地下水を知る!」、2021年6月12日(土)、共催
- ④ 地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会主催、日本学術会議公開シンポジウム「水」と「水循環」の研究最前線—21世紀の多分野協創研究にむけて」、2021年9月18日

- (土)、後援
- ⑤ 土壤物理学会主催：2021年度土壤物理学会大会、2021年10月30日（土）、協賛
  - ⑥ 地盤工学会関西支部主催：Kansai Geo-Symposium 2021-地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム、2021年11月5日（金）、共催
  - ⑦ 再生可能エネルギー協議会主催：第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム、2022年1月26日（水）～28日（金）、協賛
  - ⑧ NPO法人地中熱&地下水資源活用NET主催：第10回トークセッション「地中熱・・・未来に向かって～2050年カーボンニュートラルを達成し脱炭素社会の実現をめざそう～」、2022年2月19日（土）、共催

#### 4. 出版事業

- ① 絵本「のぞいてみよう しぜんかがく みず（ベトナム語版）」の監修を引き受けた。
- ② 書籍「みんなが知りたいシリーズ13 地下水・湧水の疑問50」（成山堂書店）の電子書籍（Kindle版）の出版協力を行った。

### [公2] 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

#### 1. 講習会事業

- ① 現場調査講習会  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止  
現場調査講習会に関するアンケート調査を実施
- ② 地下水シミュレーション講習会  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

#### 2. シンポジウム・セミナー開催事業

- ① 地下水に関するセミナー「土砂災害と地下水―土砂災害への備えは万全ですか?―」  
日時：2022年3月12日（土）13:00～17:00  
場所：オンラインにて開催  
参加者数：92名
- ② 地下水のサロン  
第1回「沿岸域における淡水・塩水地下水挙動のダイナミクス」  
日時：2021年10月29日（金）18:00～19:00  
場所：オンラインにて開催  
参加者数：60名  
第2回「離島の農業を支える地下ダム」  
日時：2022年2月4日（金）18:30～19:30  
場所：オンラインにて開催  
参加者数：46名
- ③ オンラインセミナー「地下水のきほん」  
登録者数：71名  
第1回「地下水って何？」  
日時：2021年11月19日（金）18:00～18:45  
参加者数：49名  
第2回「どうやって測る？」  
日時：2021年12月17日（金）18:00～18:45  
参加者数：48名  
第3回「どうやって治める？」  
日時：2022年1月21日（金）18:00～18:45  
参加者数：43名  
第4回「できることからはじめよう」  
日時：2022年3月18日（金）18:00～19:30  
参加者数：58名

- ④ 地下水に関するシンポジウム「トンネルと地下水（仮）」の次年度開催に向けた計画を立案した。

### 3. 見学会の開催

- ① 湧水見学会（令和3年度 市民公開講座『湧水さんぽ』の開催）  
都留文科大学地域交流研究センター主催・日本地下水学会市民コミュニケーション委員会共催  
日時：2021年11月6日（土）  
場所：都留市、忍野村  
参加者数：33名

### 4. 地下水に関する出前講演

ホームページ上で地下水に関する出前講座を受け付けたが申し込みはなかった。

## [公3] 地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

### 1. 研究グループ活動

- ① 「地域地下水情報データベース」に文献（地下水学会誌および水文・水資源学会誌）を追加し、アップデートした。関連して「地域地下水情報データベースの拡充に関する調査・研究グループ」が、北海道大学との共同実施事業（NEDOプロジェクト）として活動を開始した。2021年度中間報告書を提出。
- ② 「降雨浸透過程モデリングに関する研究グループ」の活動を継続した。
- ③ 「地下水学の最先端（state of the art）および典型的（classic）学術・技術の調査取り纏め」調査・研究グループが、かつて出版された『地下水ハンドブック』をリニューアルすることを目指し（2024年4月、『地下水の事典』朝倉書店出版予定）活動した。
- ④ 「現場透水試験法の海外技術の普及活動に関する研究グループ」では、Butler 著『The Design, Performance, and Analysis of Slug Tests』（2nd Ed, CRC Press, 2020）の翻訳と内容の理解を進め、その成果を出版する方向で活動を進めた。

### 2. 優れた若手研究者・技術者、研究グループ等の活動助成

- ① 地下水研究に携わる若手研究者・技術者が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励する「2021年度 若手地下水研究助成」への応募3件に対して審査を行い、2件を採択した。
- ② 「2022年度 若手地下水研究助成」を公募した。

## [公4] 地下水に関する相談事業

- ① ホームページ「市民コミュニケーション委員会」上にて「地下水ブックガイド」等による情報発信を行った。
- ② 地下水に関する質問の受付と回答を行った（質問件数22件；2021/4/1～2022/3/31）。
- ③ 3件の講演・出演依頼のうち1件のテレビ出演について受け付け、学会員より適任者を紹介した。

## [他1] 表彰事業

- ① 名誉会員2名、学会賞1名、地下水学術賞2名、論文賞1編、研究奨励賞1編、学会功労賞8名を決定し、表彰した。
- ② 永年会員功労賞の創設を決定した（2022年度より表彰開始予定）。
- ③ 2020年秋季講演会発表の若手優秀講演賞5名を表彰した。
- ④ 2021年春季講演会発表の若手優秀講演賞3名を表彰した。
- ⑤ 2021年秋季講演会発表の若手優秀講演賞9名を決定した。

- ⑥ 2020年度若手地下水研究助成奨励賞2名を決定した。

## [共通] 共通事業

### 1. 会議等

- ① 2021年度定時代議員総会を5月15日(土)に現地とオンラインのハイブリッド方式にて開催した。
- ② 理事会を2021年4月24日(土)、5月15日(土)、6月19日(土)、8月21日(土)、10月16日(土)、12月18日(土)、2022年2月19日(土)に開催した。12月18日(土)はハイブリッドにて、その他はオンラインにて開催した。
- ③ 各常設委員会において会議を開催した(メール開催、オンライン開催を含む)。

### 2. 国内外関連団体交流

- ① 国際水文地質学会(International Association of Hydrogeologists)日本支部の事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行った。
- ② 日本地球惑星科学連合(Japan Geoscience Union)の各種委員会に委員を派遣した。
- ③ 日本地球惑星科学連合の代議員選挙において学会内の事務業務を行った。
- ④ Hydrological Research Letters誌運営委員会に委員を派遣した。
- ⑤ Hydrological Research Letters誌の編集委員会に編集幹事1名、編集委員2名を派遣した。
- ⑥ 全米地下水協会(National Ground Water Association; NGWA)との協定を継続した。
- ⑦ 国際水文地質学会(International Association of Hydrogeologists)日本支部と春季講演会において国際セッションを共催した。
- ⑧ 地球・資源分野JABEE委員会設立準備会に、JABEE地球・資源分野運営委員会の運営委員候補者2名を推薦した。

### 3. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページ上に学会および関連団体等の最新情報を掲示・更新した。
- ② 2021年度(2021年4月1日~2022年3月31日)のホームページアクセス数は、239,930件であった。
- ③ メール配信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。
- ④ インターネットを通じた学会運営の効率化を図った。
- ⑤ 英文ホームページを運用した。
- ⑥ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用して学会情報を発信した。

### 4. 会計

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率50%以上の確保、遊休財産額の保有制限等の認定条件を維持するよう運営・管理した。
- ② 未納会費の徴収、経費の節減に取り組んだ。

### 5. 若手支援・男女共同参画に関する活動

- ① 若手交流会  
日時：2021年5月28日(金)  
場所：オンラインにて開催  
参加者数：23名
- ② 若手セミナー  
日時：2021年12月2日(土)  
場所：沖縄県那覇市 産業支援センター

(現地とオンラインのハイブリッド方式にて開催)

参加者数：64名

③ 旅費補助事業

若手のモチベーション向上と積極的な参加を支援することを目的とし、若手セミナーに現地で参加した学生を対象に旅費の補助事業を実施し、2名の参加者に対して旅費の一部を支給した。

6. 技術者継続教育に関する活動

- ① ジオ・スクーリングネット、日本技術者教育認定機構(JABEE)等へ参加した。
- ② ジオ・スクーリングネットのシステムを通じて、会員のCPD登録対応を行った。

以上

貸借対照表 (2021年度)

2022年03月31日 現在

(単位:円)

資産の部			負債・正味財産の部		
<b>【流動資産の部】</b>			<b>10,467,065</b>	<b>【負債の部】</b>	<b>4,238,655</b>
現金等	事務局	123	未払金		0
振替貯金	ゆうちょ銀行(社団法人口座)	6,339,192	預り金		137,055
普通預金	みずほ銀行(社団法人口座)	2,836,123	前受金		4,101,600
	みずほ銀行(小口口座)	420,854			
	みずほ銀行(寄附金口座) (特定寄附金70万円を除く、利息分のみ)	44			
仮払金	行事委員会、市民コミュニケーション委員会	300,000			
未収金		0			
前払金	前払家賃(4月～8月分)	550,000			
	労働保険概算保険料	20,729			
<b>【固定資産の部】</b>			<b>1,177,122</b>	<b>【正味財産の部】</b>	<b>7,405,532</b>
特定資産	特定寄附金A(調査・研究委員会活動費)	700,000	指定正味財産		700,000
	特定寄附金B(地下水学振興基金:若手研究者の研究進化)	0			
	特定寄附金C(若手交流会等助成金)	0	一般正味財産		6,705,532
その他の固定資産	敷金	300,000			
	什器備品	177,122			
資産合計			<b>11,644,187</b>	負債・正味財産合計	<b>11,644,187</b>

貸借対照表 内訳表 (2021年度)

2022年03月31日 現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	5,757,701	0	3,838,635		9,596,336
現金手許有高	0	0	123		123
振替貯金	3,803,515	0	2,535,677		6,339,192
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	3,803,515	0	2,535,677		6,339,192
普通預金	1,954,186	0	1,302,835		3,257,021
みずほ銀行(社団法人口座)	1,701,674	0	1,134,449		2,836,123
みずほ銀行(小口口座)	252,512	0	168,342		420,854
みずほ銀行(寄附金口座)	0	0	44		44
仮払金	300,000	0	0		300,000
行事委員会	100,000	0	0		100,000
市民コミュニケーション委員会	200,000	0	0		200,000
未収金	0	0	0		0
前払金	0	0	570,729		570,729
前払家賃	0	0	550,000		550,000
労働保険概算保険料	0	0	20,729		20,729
流動資産合計	6,057,701	0	4,409,364		10,467,065
2. 固定資産					
特定資産	700,000	0	0		700,000
特定寄附金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	0	0		700,000
特定寄附金 B (地下水学振興基金)	0	0	0		0
特定寄附金 C (若手交流会等助成金)	0	0	0		0
その他の固定資産固定資産	286,274	0	190,848		477,122
敷金	180,000	0	120,000		300,000
什器備品	106,274	0	70,848		177,122
固定資産合計	986,274	0	190,848		1,177,122
資産合計	7,043,975	0	4,600,212		11,644,187
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
その他	0	0	0		0
預り金	94,000	0	43,055		137,055
行事委員会	94,000	0	0		94,000
その他	0	0	43,055		43,055
前受金	2,050,800	0	2,050,800		4,101,600
前受会費	2,050,800	0	2,050,800		4,101,600
流動負債合計	2,144,800	0	2,093,855		4,238,655
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	2,144,800	0	2,093,855		4,238,655
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産	700,000	0	0		700,000
2. 一般正味財産	4,199,175	0	2,506,357		6,705,532
正味財産合計	4,899,175	0	2,506,357		7,405,532
負債および正味財産合計	7,043,975	0	4,600,212		11,644,187

正味財産増減計算書 (2021年度)

2021年04月01日から 2022年03月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	8,675,000	6,073,000	2,602,000
正会員受取会費	5,604,000	4,438,000	1,166,000
準会員受取会費	120,000	124,000	-4,000
特別会員受取会費	2,640,000	1,320,000	1,320,000
過年度分受取会費	311,000	191,000	120,000
事業収益	4,152,532	2,431,189	1,721,343
公1:学術結果等を収集, 編集, 公表する事業 収益	2,941,411	2,431,189	510,222
公2:講習会, シンポジウム, 見学会開催事業 収益	133,000	0	133,000
公3:特定テーマの技術開発, 研究等事業 収益	1,078,121	0	1,078,121
公4:地下水に関する相談事業 収益	0	0	0
その他事業:表彰事業 収益	0	0	0
受取寄附金	1,300,000	436,000	864,000
受取寄附金	1,300,000	436,000	864,000
雑収入	166,709	247,861	-81,152
雑収入	166,709	247,861	-81,152
経常収益計	14,294,241	9,188,050	5,106,191
(2) 経常費用			
公益事業費	9,998,852	7,474,055	2,524,797
給料手当	1,794,083	1,250,640	543,443
臨時雇賃金	493,480	0	493,480
会議費	179,853	0	179,853
旅費交通費	1,114,260	165,853	948,407
通信運搬費	475,495	495,411	-19,916
減価償却費	159,409	1	159,408
消耗品費	204,160	0	204,160
修繕費	0	100,980	-100,980
印刷製本費	2,993,133	3,864,263	-871,130
光熱水料費	57,035	34,246	22,789
賃借料	1,514,446	954,980	559,465
保険料	1,000	0	1,000
諸謝金	155,916	0	155,916
支払助成金	499,560	400,000	99,560
委託費	335,500	202,400	133,100
支払手数料	9,895	4,070	5,825
雑費	11,628	1,210	10,418
その他事業費	328,267	213,099	115,167
給料手当	99,671	104,220	-4,549
旅費交通費	22,578	13,748	8,830
通信運搬費	6,280	650	5,630
減価償却費	8,856	0	8,856
消耗品費	1,100	0	1,100
修繕費	0	8,415	-8,415
光熱水料費	3,169	2,854	315
賃借料	66,739	79,582	-12,843
支払手数料	770	0	770
雑費	119,103	3,630	115,473
管理費	1,287,755	2,394,342	-1,106,588
給料手当	99,671	729,540	-629,869
福利厚生費	15,879	0	15,879
臨時雇賃金	12,000	0	12,000
旅費交通費	22,578	96,239	-73,660
通信運搬費	305,474	324,443	-18,969
減価償却費	8,856	1	8,855
消耗什器備品費	288,539	39,976	248,563
消耗品費	90,045	14,453	75,592
修繕費	0	58,905	-58,905
光熱水料費	3,169	19,977	-16,808
賃借料	66,739	557,072	-490,333
保険料	0	52,323	-52,323
支払負担金	298,078	310,000	-11,922
支払助成金	58,126	0	58,126
委託費	0	166,100	-166,100
支払手数料	8,855	14,649	-5,794
雑費	9,745	10,665	-920
経常費用計	11,614,873	10,081,496	1,533,377
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,679,368	-893,446	3,572,814



(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,679,368	-893,446	3,572,814
一般正味財産期首残高	4,026,164	4,919,610	-893,446
一般正味財産期末残高	6,705,532	4,026,164	2,679,368
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	200,000	-200,000
受取寄附金	0	200,000	-200,000
一般正味財産への振替額	300,000	400,000	-100,000
一般正味財産への振替額	300,000	400,000	-100,000
当期指定正味財産増減額	-300,000	-200,000	-100,000
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,200,000	-200,000
指定正味財産期末残高	700,000	1,000,000	-300,000
III 正味財産期末残高	7,405,532	5,026,164	2,379,368
IV 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
V 正味財産期末残高	7,405,532	5,026,164	2,379,368



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は、定率法を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

当期末における基本財産及び特定資産の増加額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
特定寄付金 A	700,000	0	0	700,000
特定寄付金 B	100,000	0	100,000	0
特定寄付金 C	200,000	0	200,000	0
小 計	1,000,000	0	300,000	700,000
合 計	1,000,000	0	300,000	700,000

注) 特定寄付金 A：調査・研究委員会活動費

特定寄付金 B：地下水学振興基金（若手研究者の研究進化）

特定寄付金 C：若手交流会等助成金

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	354,243	177,121	177,122
合 計	354,243	177,121	177,122

以上

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産および特定資産については、財務諸表に対する注記2.に記載のとおりである。

### 2. 引当金の明細

当期末において、引当金を計上していない。

以上

## 2021年度 財産目録

2022年03月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【資産の部】</b>			
<b>I 流動資産</b>			
1 現金預金			9,596,336
1) 現金	手元保管	運転資金として	123
2) 振替貯金	ゆうちょ銀行(社団法人口座)	運転資金として	6,339,192
3) 普通預金	みずほ銀行(社団法人口座)	運転資金として	2,836,123
	みずほ銀行(小口口座)	運転資金として	420,854
	みずほ銀行(寄附金口座)	寄附金金利分として(特定寄附金70万円を除く)	44
2 未収金			0
3 仮払金			300,000
	行事委員会会計	2022年度委員会 運営費用仮払い	100,000
	市民コミュニケーション委員会会計	2022年度委員会 運営費用仮払い	200,000
4 前払金			570,729
	フクダエステート	事務局家賃(4月～8月分)	550,000
	東京労働局中央労働基準監督署	労働保険概算保険料(2021年度分)	20,729
流動資産合計			10,467,065
<b>II 固定資産</b>			
1 特定資産			700,000
1) 特定寄附金A	みずほ銀行(寄附金口座)	調査・研究委員会活動費	700,000
2) 特定寄附金B	みずほ銀行(寄附金口座)	地下水学振興基金(若手研究者の研究進化)	0
3) 特定寄附金C	みずほ銀行(寄附金口座)	若手交流会等助成金	0
2 その他の固定資産			477,122
1) 敷金	フクダエステート	事務局敷金	300,000
2) 什器備品	パソコン1:学会事務局	公益目的保有財産であり、公1～公4、その他事業および管理事務に使用している	51,856
	パソコン2:学会事務局	公益目的保有財産であり、公1～公4、その他事業および管理事務に使用している	72,723
	パソコン3:学会事務局	公益目的保有財産であり、公1～公4、その他事業および管理事務に使用している	52,543
固定資産合計			1,177,122
資産合計			11,644,187
<b>【負債の部】</b>			
<b>I 流動負債</b>			
1 未払金			0
2 預り金			137,055
	行事委員会会計口座	2022年度春季講演会会費 預り金	94,000
	事務局経費	事務局員所得税源泉徴収・雇用保険料 預り金	12,176
		公益目的事業のうち受託研究概算費残額 預り金	30,879
3 前受金	2022年度分会費	公益目的事業、法人会計に関わる前受分	4,101,600
流動負債合計			4,238,655
<b>II 固定負債</b>			
固定負債合計			0
負債合計			4,238,655
正味財産			7,405,532

## 2021年度 監査報告書

2022年4月15日

公益社団法人 日本地下水学会

代表理事 会長 徳永 朋祥 殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 深田 園子



監事 高坂 信章



私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの公益社団法人 日本地下水学会 第12期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の取集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産諸表に対する注記）及び附属明細書等について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、公益社団法人 日本地下水学会の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上